臺灣新報
昭和十四年一月廿六日 第一四八〇二號 A 新日日報臺灣版 昭和十四年一月廿六日 第一四八〇二號

脫出時刻はいつ？

シュペー號を繞る興味

【リオデジャネイロ十六日發同盟】シュペー號を繞る興味の中心はやはりその脫出時期の点に係つてゐるが英艦隊には獨ダンケルク號が來援しつつありと傳へられる折柄とてシュペー號の脫出は明後を待たず今夜中に敢行されるものとの觀有力で、英國の來援に對しドイツ側でも數隻の潛水艦を南米に急航させたとの說もある、またシュペー號が脫出する際には南米何れかの海上で意外な大艦隊に遭遇するのではないかと云はれてゐる

海戰は殆んど必至

【リオデジャネイロ十六日發同盟】シュペー號はウルグワイ府の通告に依り愈々十七日午後五時までにモンテヴィデオを出港の筈であるが、從つて南大西洋上に於ける英獨兩艦の再海戰は殆ど必至と見られるに至つた、但し一部ではシュペー號が領海に沿つてブエノスアイレス港に到り、同港でその後の方針を確立するものと見てゐる

海面、霧で蔽はる

絶好の條件、脫出の姿勢

【モンテヴィデオ十七日發同盟】獨艦シュペー號は愈々脫出に決定したものの如く十七日午前零時過ぎに至り、俄に錨を取巻いてゐた俥やランチに立退きを命ずるとともに檢査を港口のガスクルリと向け直し、後は燃やへ捲き上げれば何時でも出港出來るばかりの姿勢を執るに至つた、既に港外線上の大小英艦艇數隻はすつかり包圍陣を縮め脫出には絶好の條件が揃はつてゐる、この歷史的事件を見んものと防波堤には黒山の如き人だかりをしてゐる數千の觀衆はなか〳〵今か今かと固唾を呑んでシュペー號の出港を待ち構へてゐる

獨潛水艦急航か

興味深き南米沖の海戰

【東京十七日發本社特電】十二日南大ウルグワイ沖の今次大戰最初の英獨艦隊、片や新興ナチス海軍の誇る巨艦アドミラル・グラーフ・シュペー號、此方一歩も讓らぬ英艦隊の堂々陣容との鍔を削る一戰は共に相當の被害を蒙りシュペー號のモンテビデオ港避入に依つて一應の終結は告げたもののウルグワイ政府はシュペー號に對し七十二時間の假泊を許可し十七日午後五時（日本時間十八日早朝六時）迄に立退きを要求した、果してシュペー號はその期間内に出港するかどうか、若しシュペー號が右通告を無視して港内に假泊を續けばウルグワイ政府は中立國の當然の義務としてシュペー號を拿捕、武裝を解除し艦載砲を陸揚抑留と云ふ羽目になるが、シュペー號としてはドイツ海軍の面目にかけても徹底的に最後を交へんとするかにある訳である、英國艦隊はモンテビデオ港外にあつて嚴重監視中で新鋭主力艦エアン號、航空母艦アークロイヤル號及びフランスの新鋭主力艦ダンケルク號等が急遽馳せてこれに匹敵する事件があつた折柄とて、シュペー號の脫出は明後日午後五時迄に敢行されるものとの觀有力で、英國の來援に對しドイツ側でも數隻の潛水艦を南米に急航させたとの說もある、またシュペー號が脫出する際には南米何れかの海上で意外な大艦隊に遭遇するのではないかと云はれてゐる

ガーナー氏立候補

【ワシントン十六日發同盟】大統領選擧を明年に控へ現職大統領ガーナー氏は十六日民主黨の大統領候補として立候補する旨正式發表した

政府、貴院懇談會

政府は十六日朝より貴族院議院運營委員室に貴族側首相の時局懇談會を開催、今後の協力支援を懇請した（寫眞は同部

獨伊軍事同盟有效

日本の友情に感激

伊の外演相說

【ローマ十六日發同盟】チアノ外相は十六日下院に於けるイタリーの外交政策を闡明する重大演說を行つた、その要旨左の如しイタリーの生たる職務は自國の安全と獨立とを保障するにあるイタリーは獨伊軍事同盟、對スペイン援助等に於ける協定締結に際する當時自國自身にあると、イタリーは常に獨ソ會談につき十分な報告を受けてゐた、イタリーの非交戰國としての立場はドイツの完全なる諒解を受けてゐるものである、獨ポ不可侵條約今も尚有效である、イタリーはドナウ沿岸地方並にバルカンに於ける現狀の推移に關聯なる利害關係を持つものであり、極めてこれを重視してゐる、現在イタリーは國際情勢の進展に深甚なる關心を拂ひつつあるが何時でも實際的な一作に依つてこれに貢獻する用意を有する

【ローマ十六日發同盟】チアノ外相は十六日下院に於ける外交演說中獨伊軍事同盟の眞の意義に關し左の如く說明した

獨伊軍事同盟は兩國の安全を確保するに缺くことの出來ない基礎的條約である、この同盟は兩國の自由意志に基いて締結されたものであり、兩國の間には何等の秘密條項も存在しない、この同盟は兩國の間に存在する眞の友情に基いて締結されたものであり、兩國の間には何等の利害の對立

激流

（第十回）

久生十蘭 作
伊勢良夫 畫

晩餐（七）

小間使が、靜かに入つて來て、月山さまがお見えになりましたと告げた。

冬彥の來たかなかこと胴震ひした眞赤な顏を醜惡して來たばかりのところで、なんとなく氣がかゝつて、すぐに食堂には出なかつた。

撃子は、考へるやうな調子をしてから、

「しばらくそちらでお待ち願つてちやうだい。いま、お客さまとお話つて、ね」

薔薇の匂ひが漂れてきて、客間を花瓶の花の白が薄い闇の中に浮み、海の底のやうな靜寂とした氣分が部屋を占めてゐる。

撃子は、寄りはのソファで、身動きもせずに取りとめのない物思ひに耽つてゐた。

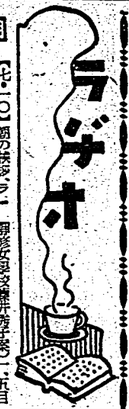
撃子が、はじめて月山冬彥を見たのは、一昨年の春ころのことだつた。

ブラジル大使の新任のレセプションに、冬彥は、父の代理で出席してゐた。その頃はまだ醫科の學生で、學生服をキチンと着て窮屈かないやうすで、客間の隅の椅子でかしこまつてゐた。

つつましく自分から目立たないやうな片隅に引つこんでゐるので撃子などはその存在に氣がつかずにすんでしまふ筈だつたのに、ちようどした關係が、二人を結びつけた。

その夜は、母子も一緒だつた。

撃子は、リオ・デ・ヂネイロで



撃が出てこなかつた。ひどい慌て方をしたと見えて、母子が可笑がつて、撃子の醜態を喋つて聞いたすぐれた觀察と理解を示したりした。

それほど冬彥は美しかつた。

長い睫の下に、煙つたやうな情的な眼があつて、黒い濕つた脣の沼の上に觀念な長い髭がしつとりと影を落してゐる。

きちんと整頓された女性をあらはすまでにはほどかたものい。撃子は酒精に引き締められて、またひとに觸れられぬ新鮮な蕾の花を

思はせた。

それにしても、この眼の醫師の瞳孔さは！

人間の血が、また細胞の神とまいつてゐるこの眼の、あの、あんまり合つてゐるこの眼の、あの、あんまり合つてゐるこの眼の、あの、あんまり合つ

タツキリの奥深く 寶庫を開きに！

佐野博士一行來臺

臺灣砂金調査隊

久しい間謎の儘に葬られてゐた黄金の山の砂金發生が、今回現河床から遙か離れた高位臺地に發見されたことによつて、新たな假説が成立し、学界の興味をひいてゐるが、それは果たして、一億五千万円みんなで何十倍あるか判らぬといふ驚くべき、佳時アラスカに起つたゴールドラッシュをこの臺湾に再現するかの如く大変な關心を捲き起して來た

×

この實態を極むべく中央政府の斡旋で官民、学界の權威者を網羅した臺湾砂金調査隊一行は別項の如く十六日朝基隆入港後直ちに其まま臺湾鐵道部参事、總督官房秘書官同行の上、鉄道ホテルに落着したが一行の顧問佐野眞太郎博士は次の如く語つた

今回皆々の渡湾は、實際部の高位當局に新たに砂金が發見されたといふ事實に基いて、臺湾總督府から調査方を委嘱されたので、この一行を組織したわけだ、東京では最官房長から一應は聞かされたが、お二人とも技術者でないから、專門的のことは何も聞いてゐないと同じだ、從つてどんな調査の利用等日本でも色々と一考さねばならぬ點が、特に前からその方の調査について居られた人々に既て、出來るだけ詳しく判かればならぬと思つてゐる、何しろ現地の調査報告も殆んど此處で當局者に就て今迄調べて居られる大切な參考資料であると思ふ、現地の調べは三菱鑛業の技師が擔當として當られるが、調査方針、方法等調べは今日午後當局と打合せた上で決められることになるだらう……

と結んだ、尚砂金發見の例がある、タツキリの奥深くの山の上に砂金を發見して夢路、夢路とも發見氏砂金發見の例がある、タツキリの發見氏とか、山地に發見されるのもある、日本でも古くは大正八年シベリア出兵當時占據地の山の上に砂金を發見してゐるが、夢路とも發見氏とか、山地に發見されるのもある、日本でも古くは大正八年シベリア出兵當時占據地の山の上に砂金を發見して夢路き、當時話題となつたこともあり、夢路とも發見氏砂金發見の例がある、タツキリの發見氏がどんなになつてゐるか知らんが、要するに問題は砂金が在ることを立證した上、如何にして採取するかといふことを考へねばならぬ、砂金の採取法としては原始的な舶流しの方法から大規模なドレッヂャーを仕掛けた船舶設備迄色々あるが、當時の事情に應じて最も適當な方法で採用されてゐる譯だから、今回の調査に當つては、此點の利用價値の有無を充分研究の上、國家當局に進言したいと思つてゐる

砂金調査班日程

【樂部泊】廿、一日タビト渡湾、ドヨン段上調査△二十二日タビト段ウサイ着、タウサイ段上調査△二十三日タビト段ウサイ着、タウキリヤン段上調査、タビト着△二十三日タビト段ウキリヤン着、シキリヤン段上調査、タビト着△二十四日タビト段花蓮港着、陸路△二十五日基隆着、直ちに陸入船、北投へ（八仙閣泊）△二十六日北投總督官邸訪問の上、鉄道ホテルに落着、たが一行の顧問佐野眞太郎博士は次の如く語つた

今回皆々の渡湾は、實際部の高位當局に新たに砂金が發見されたといふ事實に基いて、臺湾總督府から調査方を委嘱されたので、この一行を組織したわけだ、東京では最官房長から一應は聞かされたが、お二人とも技術者でないから、專門的のことは何も聞いてゐないと同じだ、從つてどんな調査の

香取丸入港

【基隆電話】東台風に無電戒の砂金の山が發見されたといふニュースは今や全日本津浦々まで傳はり發見に關ふらしい期待を抱いて人氣を呼んでゐる此の黄金の山を目指して臺湾總督府の指令で調査に向ふ事になつた東大佐野教授一行は、廿日二號搭乗の香取丸で基隆入港の豫定で當地に於ても有る程度迄は發表されるものと思はれる

經濟戰強調週間

標語ビラを配布

商業會議所では十六日當所二階に於て開催された經濟戰強調週間組合講演會に際して講演の筆に經濟戰強調週間の標語を募集したが、其の入賞作品が發表されたので、之等入賞作品を印刷したビラを配布して一般の戰時經濟協力を促すことゝなつてゐる、尚ほ一般の標語募集は廿日迄に締切られ、審査方針、方法等調べは今日午後當局と打合せた上で決められることになつてゐる

最近の泰國國情

（二）新興國家の姿雄々し

傷病杖にすがつて 鄉軍演習に參加

感激場面展開した攻防戰

十七日（日）台北市城南分會に於ては午前九時より會員の召集演習を實施し引續き晝食を摂つて午後行軍機動を期して西湖大直附近に於て演習戰及び追擊戰、陣地攻擊等の訓練を實施、終つて閲兵分列、講評の後、陸軍々官等の指導に依て行軍を終つた、この日從來の風吹き雨を衝く暴風雨を物ともせず參加した會員總數八百餘名、東西兩軍となり新部分會長鈴木氏の下に極めて組織的に整然と北軍の背後を衝らかに好放擊を納めて終結した、又本演習に對しては特に臺北支部長、村田部合分會長らが早朝より戰場、士氣の指揮につとめた、村上は森田內務部長の指揮地に臨み總軍の指揮に際し部下に對して來る者、傷病戰友會員二百餘名を、殊に召集演習にかゝつて參加することは容易の事でなかつたことゝ又三つに折れた杖にすがつて參加した會員の感激場面を展開した

商船の山陽丸に 英國が停船命令

積荷の檢査を開始

【ロンドン十六日發同盟】十六日早朝ロッテルダムを出港した山陽丸は英國の海岸に差掛るや停船を命ぜられ、英國の係官が乘船の上貨物の檢査を開始した、積荷中には「イツ兵部性加里、機關銃等が含まれてゐるので檢査官は十七日午後となるものと見られてゐる

【ロッテルダム十六日發同盟】ロッテルダムに在つて待機中だつた同國の商船山陽丸は十六日午前六時五十五分同港を出發、日本に向ふ

廿八名を救助

遭難ソ聯船の後報

【東京十七日發同盟】外務省では北海道稚内沖合で遭難せる陽汽船の救助に關する救助業務に就き十七日左の通り發表した

遭難ソ聯船インテギヤル號に對しては其後續報を得して救助作業を續行してゐるが十六日船中に於ける生存者二十八名を救出した、其中一名は死亡し一名は現傷なるも全員は十七日午前八時半頃より小樽に向つた

基隆市議の月例會

【基隆電話】基隆市議月例會は從前通り來月十八日に開催することに決り改選後の第一回月例會を十八日午後七時から市役所會議室で開催する筈である

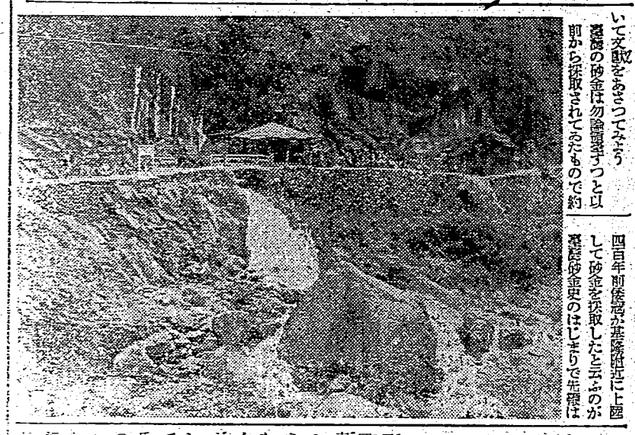
東亞海運で基隆出張所の披露宴

【基隆電話】東亞海運株式會社長河田烈氏は十九日午後七時から吾等に極山市役場の主なる官民多數を招待し同營業所出張所新設の披露宴を催した

滑空機諸共に墜落慘死

本島では最初の遭難椿事

【東京電話】本島最初の滑空機大會は十五日午前十時半頃から南州國防競技場に於て開催されたが、當日は最初のことで見物に押寄せた數萬の觀衆は滑空機の飛行に依る華麗な雄姿を見んものと場内外を埋めつくし、場内は立錐の餘地もない程の盛況を呈した、午後一時半頃から滑空機の飛行が開始されたが、午後二時頃、第一回の飛行者として出場した臺北第一高等學校生徒の一人が、滑空機諸共に墜落慘死を遂げるといふ椿事が突發した、墜落した生徒は臺北第一高等學校二年生で、名は岡田造林課長、總督府營林課長岡田義氏の長男で、父の後を追ひ林學を志し、學業の傍ら滑空機の操縦を研究してゐたもので、當日は最初の飛行者として出場したものである、墜落の原因は目下取調べ中であるが自動車に依るワイヤーの斷絶と云ふ



話題の砂金層を見る

最初の採金は邦人の口碑にも殘る

蕃人の口碑にも殘る

岩田特派員記

現地踏査記

夢洸渺たる昭和二千六百年を正に迎へんとして擧國其の一員に參加して勇躍奮ひ立つた黄金報國の今は誰一人として疑ふものもなく、既定の國策遂行に邁進してゐるが、今から二十年前のはじめて發見以來數度に亘つて全島に亘つて採取された砂金が軍部に納められてゐることを知る由もないが何にしても驚くべき大な砂金が軍部に納められてゐることを證明したのは實に此の時であり、それが世界にとつて可成りの驚くべき事實であつたことは斷言出來ようが、之を爲にこの秘密の口から發表されるに至つたのは正しい口實とされてゐる、日本人が採金に從事した年代に就て諸説區々に「山田長政説」「佐久間左馬太説」「明治三十年説」「同三十三年説」「同三十四年説」「同三十五年説」「同三十六年説」「同三十七年説」「同三十八年説」「同三十九年説」「同四十年説」「同四十一年説」「同四十二年説」「同四十三年説」「同四十四年説」「同四十五年説」「同四十六年説」「同四十七年説」「同四十八年説」「同四十九年説」「同五十年説」「同五十一年説」「同五十二年説」「同五十三年説」「同五十四年説」「同五十五年説」「同五十六年説」「同五十七年説」「同五十八年説」「同五十九年説」「同六十年説」「同六十一年説」「同六十二年説」「同六十三年説」「同六十四年説」「同六十五年説」「同六十六年説」「同六十七年説」「同六十八年説」「同六十九年説」「同七十年説」「同七十一年説」「同七十二年説」「同七十三年説」「同七十四年説」「同七十五年説」「同七十六年説」「同七十七年説」「同七十八年説」「同七十九年説」「同八十年説」「同八十一年説」「同八十二年説」「同八十三年説」「同八十四年説」「同八十五年説」「同八十六年説」「同八十七年説」「同八十八年説」「同八十九年説」「同九十年説」「同九十一年説」「同九十二年説」「同九十三年説」「同九十四年説」「同九十五年説」「同九十六年説」「同九十七年説」「同九十八年説」「同九十九年説」「同百年説」「同百一年説」「同百二年説」「同百三年説」「同百四年説」「同百五年説」「同百六年説」「同百七年説」「同百八年説」「同百九年説」「同百十年説」「同百十一年説」「同百十二年説」「同百十三年説」「同百十四年説」「同百十五年説」「同百十六年説」「同百十七年説」「同百十八年説」「同百十九年説」「同百二十年説」「同百二十一年説」「同百二十二年説」「同百二十三年説」「同百二十四年説」「同百二十五年説」「同百二十六年説」「同百二十七年説」「同百二十八年説」「同百二十九年説」「同百三十年説」「同百三十一年説」「同百三十二年説」「同百三十三年説」「同百三十四年説」「同百三十五年説」「同百三十六年説」「同百三十七年説」「同百三十八年説」「同百三十九年説」「同百四十年説」「同百四十一年説」「同百四十二年説」「同百四十三年説」「同百四十四年説」「同百四十五年説」「同百四十六年説」「同百四十七年説」「同百四十八年説」「同百四十九年説」「同百五十年説」「同百五十一年説」「同百五十二年説」「同百五十三年説」「同百五十四年説」「同百五十五年説」「同百五十六年説」「同百五十七年説」「同百五十八年説」「同百五十九年説」「同百六十年説」「同百六十一年説」「同百六十二年説」「同百六十三年説」「同百六十四年説」「同百六十五年説」「同百六十六年説」「同百六十七年説」「同百六十八年説」「同百六十九年説」「同百七十年説」「同百七十一年説」「同百七十二年説」「同百七十三年説」「同百七十四年説」「同百七十五年説」「同百七十六年説」「同百七十七年説」「同百七十八年説」「同百七十九年説」「同百八十年説」「同百八十一年説」「同百八十二年説」「同百八十三年説」「同百八十四年説」「同百八十五年説」「同百八十六年説」「同百八十七年説」「同百八十八年説」「同百八十九年説」「同百九十年説」「同百九十一年説」「同百九十二年説」「同百九十三年説」「同百九十四年説」「同百九十五年説」「同百九十六年説」「同百九十七年説」「同百九十八年説」「同百九十九年説」「同二百年説」「同二百一年説」「同二百二年説」「同二百三年説」「同二百四年説」「同二百五年説」「同二百六年説」「同二百七年説」「同二百八年説」「同二百九年説」「同二百十年説」「同二百十一年説」「同二百十二年説」「同二百十三年説」「同二百十四年説」「同二百十五年説」「同二百十六年説」「同二百十七年説」「同二百十八年説」「同二百十九年説」「同二百二十年説」「同二百二十一年説」「同二百二十二年説」「同二百二十三年説」「同二百二十四年説」「同二百二十五年説」「同二百二十六年説」「同二百二十七年説」「同二百二十八年説」「同二百二十九年説」「同二百三十年説」「同二百三十一年説」「同二百三十二年説」「同二百三十三年説」「同二百三十四年説」「同二百三十五年説」「同二百三十六年説」「同二百三十七年説」「同二百三十八年説」「同二百三十九年説」「同二百四十年説」「同二百四十一年説」「同二百四十二年説」「同二百四十三年説」「同二百四十四年説」「同二百四十五年説」「同二百四十六年説」「同二百四十七年説」「同二百四十八年説」「同二百四十九年説」「同二百五十年説」「同二百五十一年説」「同二百五十二年説」「同二百五十三年説」「同二百五十四年説」「同二百五十五年説」「同二百五十六年説」「同二百五十七年説」「同二百五十八年説」「同二百五十九年説」「同二百六十年説」「同二百六十一年説」「同二百六十二年説」「同二百六十三年説」「同二百六十四年説」「同二百六十五年説」「同二百六十六年説」「同二百六十七年説」「同二百六十八年説」「同二百六十九年説」「同二百七十年説」「同二百七十一年説」「同二百七十二年説」「同二百七十三年説」「同二百七十四年説」「同二百七十五年説」「同二百七十六年説」「同二百七十七年説」「同二百七十八年説」「同二百七十九年説」「同二百八十年説」「同二百八十一年説」「同二百八十二年説」「同二百八十三年説」「同二百八十四年説」「同二百八十五年説」「同二百八十六年説」「同二百八十七年説」「同二百八十八年説」「同二百八十九年説」「同二百九十年説」「同二百九十一年説」「同二百九十二年説」「同二百九十三年説」「同二百九十四年説」「同二百九十五年説」「同二百九十六年説」「同二百九十七年説」「同二百九十八年説」「同二百九十九年説」「同三百年説」「同三百一年説」「同三百二年説」「同三百三年説」「同三百四年説」「同三百五年説」「同三百六年説」「同三百七年説」「同三百八年説」「同三百九年説」「同三百十年説」「同三百十一年説」「同三百十二年説」「同三百十三年説」「同三百十四年説」「同三百十五年説」「同三百十六年説」「同三百十七年説」「同三百十八年説」「同三百十九年説」「同三百二十年説」「同三百二十一年説」「同三百二十二年説」「同三百二十三年説」「同三百二十四年説」「同三百二十五年説」「同三百二十六年説」「同三百二十七年説」「同三百二十八年説」「同三百二十九年説」「同三百三十年説」「同三百三十一年説」「同三百三十二年説」「同三百三十三年説」「同三百三十四年説」「同三百三十五年説」「同三百三十六年説」「同三百三十七年説」「同三百三十八年説」「同三百三十九年説」「同三百四十年説」「同三百四十一年説」「同三百四十二年説」「同三百四十三年説」「同三百四十四年説」「同三百四十五年説」「同三百四十六年説」「同三百四十七年説」「同三百四十八年説」「同三百四十九年説」「同三百五十年説」「同三百五十一年説」「同三百五十二年説」「同三百五十三年説」「同三百五十四年説」「同三百五十五年説」「同三百五十六年説」「同三百五十七年説」「同三百五十八年説」「同三百五十九年説」「同三百六十年説」「同三百六十一年説」「同三百六十二年説」「同三百六十三年説」「同三百六十四年説」「同三百六十五年説」「同三百六十六年説」「同三百六十七年説」「同三百六十八年説」「同三百六十九年説」「同三百七十年説」「同三百七十一年説」「同三百七十二年説」「同三百七十三年説」「同三百七十四年説」「同三百七十五年説」「同三百七十六年説」「同三百七十七年説」「同三百七十八年説」「同三百七十九年説」「同三百八十年説」「同三百八十一年説」「同三百八十二年説」「同三百八十三年説」「同三百八十四年説」「同三百八十五年説」「同三百八十六年説」「同三百八十七年説」「同三百八十八年説」「同三百八十九年説」「同三百九十年説」「同三百九十一年説」「同三百九十二年説」「同三百九十三年説」「同三百九十四年説」「同三百九十五年説」「同三百九十六年説」「同三百九十七年説」「同三百九十八年説」「同三百九十九年説」「同四百年説」「同四百一年説」「同四百二年説」「同四百三年説」「同四百四年説」「同四百五年説」「同四百六年説」「同四百七年説」「同四百八年説」「同四百九年説」「同四百十年説」「同四百十一年説」「同四百十二年説」「同四百十三年説」「同四百十四年説」「同四百十五年説」「同四百十六年説」「同四百十七年説」「同四百十八年説」「同四百十九年説」「同四百二十年説」「同四百二十一年説」「同四百二十二年説」「同四百二十三年説」「同四百二十四年説」「同四百二十五年説」「同四百二十六年説」「同四百二十七年説」「同四百二十八年説」「同四百二十九年説」「同四百三十年説」「同四百三十一年説」「同四百三十二年説」「同四百三十三年説」「同四百三十四年説」「同四百三十五年説」「同四百三十六年説」「同四百三十七年説」「同四百三十八年説」「同四百三十九年説」「同四百四十年説」「同四百四十一年説」「同四百四十二年説」「同四百四十三年説」「同四百四十四年説」「同四百四十五年説」「同四百四十六年説」「同四百四十七年説」「同四百四十八年説」「同四百四十九年説」「同四百五十年説」「同四百五十一年説」「同四百五十二年説」「同四百五十三年説」「同四百五十四年説」「同四百五十五年説」「同四百五十六年説」「同四百五十七年説」「同四百五十八年説」「同四百五十九年説」「同四百六十年説」「同四百六十一年説」「同四百六十二年説」「同四百六十三年説」「同四百六十四年説」「同四百六十五年説」「同四百六十六年説」「同四百六十七年説」「同四百六十八年説」「同四百六十九年説」「同四百七十年説」「同四百七十一年説」「同四百七十二年説」「同四百七十三年説」「同四百七十四年説」「同四百七十五年説」「同四百七十六年説」「同四百七十七年説」「同四百七十八年説」「同四百七十九年説」「同四百八十年説」「同四百八十一年説」「同四百八十二年説」「同四百八十三年説」「同四百八十四年説」「同四百八十五年説」「同四百八十六年説」「同四百八十七年説」「同四百八十八年説」「同四百八十九年説」「同四百九十年説」「同四百九十一年説」「同四百九十二年説」「同四百九十三年説」「同四百九十四年説」「同四百九十五年説」「同四百九十六年説」「同四百九十七年説」「同四百九十八年説」「同四百九十九年説」「同五百年説」「同五百一年説」「同五百二年説」「同五百三年説」「同五百四年説」「同五百五年説」「同五百六年説」「同五百七年説」「同五百八年説」「同五百九年説」「同五百十年説」「同五百十一年説」「同五百十二年説」「同五百十三年説」「同五百十四年説」「同五百十五年説」「同五百十六年説」「同五百十七年説」「同五百十八年説」「同五百十九年説」「同五百二十年説」「同五百二十一年説」「同五百二十二年説」「同五百二十三年説」「同五百二十四年説」「同五百二十五年説」「同五百二十六年説」「同五百二十七年説」「同五百二十八年説」「同五百二十九年説」「同五百三十年説」「同五百三十一年説」「同五百三十二年説」「同五百三十三年説」「同五百三十四年説」「同五百三十五年説」「同五百三十六年説」「同五百三十七年説」「同五百三十八年説」「同五百三十九年説」「同五百四十年説」「同五百四十一年説」「同五百四十二年説」「同五百四十三年説」「同五百四十四年説」「同五百四十五年説」「同五百四十六年説」「同五百四十七年説」「同五百四十八年説」「同五百四十九年説」「同五百五十年説」「同五百五十一年説」「同五百五十二年説」「同五百五十三年説」「同五百五十四年説」「同五百五十五年説」「同五百五十六年説」「同五百五十七年説」「同五百五十八年説」「同五百五十九年説」「同六百年説」「同六百一年説」「同六百二年説」「同六百三年説」「同六百四年説」「同六百五年説」「同六百六年説」「同六百七年説」「同六百八年説」「同六百九年説」「同六百十年説」「同六百十一年説」「同六百十二年説」「同六百十三年説」「同六百十四年説」「同六百十五年説」「同六百十六年説」「同六百十七年説」「同六百十八年説」「同六百十九年説」「同六百二十年説」「同六百二十一年説」「同六百二十二年説」「同六百二十三年説」「同六百二十四年説」「同六百二十五年説」「同六百二十六年説」「同六百二十七年説」「同六百二十八年説」「同六百二十九年説」「同六百三十年説」「同六百三十一年説」「同六百三十二年説」「同六百三十三年説」「同六百三十四年説」「同六百三十五年説」「同六百三十六年説」「同六百三十七年説」「同六百三十八年説」「同六百三十九年説」「同六百四十年説」「同六百四十一年説」「同六百四十二年説」「同六百四十三年説」「同六百四十四年説」「同六百四十五年説」「同六百四十六年説」「同六百四十七年説」「同六百四十八年説」「同六百四十九年説」「同六百五十年説」「同六百五十一年説」「同六百五十二年説」「同六百五十三年説」「同六百五十四年説」「同六百五十五年説」「同六百五十六年説」「同六百五十七年説」「同六百五十八年説」「同六百五十九年説」「同六百六十年説」「同六百六十一年説」「同六百六十二年説」「同六百六十三年説」「同六百六十四年説」「同六百六十五年説」「同六百六十六年説」「同六百六十七年説」「同六百六十八年説」「同六百六十九年説」「同六百七十年説」「同六百七十一年説」「同六百七十二年説」「同六百七十三年説」「同六百七十四年説」「同六百七十五年説」「同六百七十六年説」「同六百七十七年説」「同六百七十八年説」「同六百七十九年説」「同六百八十年説」「同六百八十一年説」「同六百八十二年説」「同六百八十三年説」「同六百八十四年説」「同六百八十五年説」「同六百八十六年説」「同六百八十七年説」「同六百八十八年説」「同六百八十九年説」「同六百九十年説」「同六百九十一年説」「同六百九十二年説」「同六百九十三年説」「同六百九十四年説」「同六百九十五年説」「同六百九十六年説」「同六百九十七年説」「同六百九十八年説」「同六百九十九年説」「同七百年説」「同七百一年説」「同七百二年説」「同七百三年説」「同七百四年説」「同七百五年説」「同七百六年説」「同七百七年説」「同七百八年説」「同七百九年説」「同七百十年説」「同七百十一年説」「同七百十二年説」「同七百十三年説」「同七百十四年説」「同七百十五年説」「同七百十六年説」「同七百十七年説」「同七百十八年説」「同七百十九年説」「同七百二十年説」「同七百二十一年説」「同七百二十二年説」「同七百二十三年説」「同七百二十四年説」「同七百二十五年説」「同七百二十六年説」「同七百二十七年説」「同七百二十八年説」「同七百二十九年説」「同七百三十年説」「同七百三十一年説」「同七百三十二年説」「同七百三十三年説」「同七百三十四年説」「同七百三十五年説」「同七百三十六年説」「同七百三十七年説」「同七百三十八年説」「同七百三十九年説」「同七百四十年説」「同七百四十一年説」「同七百四十二年説」「同七百四十三年説」「同七百四十四年説」「同七百四十五年説」「同七百四十六年説」「同七百四十七年説」「同七百四十八年説」「同七百四十九年説」「同七百五十年説」「同七百五十一年説」「同七百五十二年説」「同七百五十三年説」「同七百五十四年説」「同七百五十五年説」「同七百五十六年説」「同七百五十七年説」「同七百五十八年説」「同七百五十九年説」「同七百六十年説」「同七百六十一年説」「同七百六十二年説」「同七百六十三年説」「同七百六十四年説」「同七百六十五年説」「同七百六十六年説」「同七百六十七年説」「同七百六十八年説」「同七百六十九年説」「同七百七十年説」「同七百七十一年説」「同七百七十二年説」「同七百七十三年説」「同七百七十四年説」「同七百七十五年説」「同七百七十六年説」「同七百七十七年説」「同七百七十八年説」「同七百七十九年説」「同七百八十年説」「同七百八十一年説」「同七百八十二年説」「同七百八十三年説」「同七百八十四年説」「同七百八十五年説」「同七百八十六年説」「同七百八十七年説」「同七百八十八年説」「同七百八十九年説」「同七百九十年説」「同七百九十一年説」「同七百九十二年説」「同七百九十三年説」「同七百九十四年説」「同七百九十五年説」「同七百九十六年説」「同七百九十七年説」「同七百九十八年説」「同七百九十九年説」「同八百年説」「同八百一年説」「同八百二年説」「同八百三年説」「同八百四年説」「同八百五年説」「同八百六年説」「同八百七年説」「同八百八年説」「同八百九年説」「同八百十年説」「同八百十一年説」「同八百十二年説」「同八百十三年説」「同八百十四年説」「同八百十五年説」「同八百十六年説」「同八百十七年説」「同八百十八年説」「同八百十九年説」「同八百二十年説」「同八百二十一年説」「同八百二十二年説」「同八百二十三年説」「同八百二十四年説」「同八百二十五年説」「同八百二十六年説」「同八百二十七年説」「同八百二十八年説」「同八百二十九年説」「同八百三十年説」「同八百三十一年説」「同八百三十二年説」「同八百三十三年説」「同八百三十四年説」「同八百三十五年説」「同八百三十六年説」「同八百三十七年説」「同八百三十八年説」「同八百三十九年説」「同八百四十年説」「同八百四十一年説」「同八百四十二年説」「同八百四十三年説」「同八百四十四年説」「同八百四十五年説」「同八百四十六年説」「同八百四十七年説」「同八百四十八年説」「同八百四十九年説」「同八百五十年説」「同八百五十一年説」「同八百五十二年説」「同八百五十三年説」「同八百五十四年説」「同八百五十五年説」「同八百五十六年説」「同八百五十七年説」「同八百五十八年説」「同八百五十九年説」「同八百六十年説」「同八百六十一年説」「同八百六十二年説」「同八百六十三年説」「同八百六十四年説」「同八百六十五年説」「同八百六十六年説」「同八百六十七年説」「同八百六十八年説」「同八百六十九年説」「同八百七十年説」「同八百七十一年説」「同八百七十二年説」「同八百七十三年説」「同八百七十四年説」「同八百七十五年説」「同八百七十六年説」「同八百七十七年説」「同八百七十八年説」「同八百七十九年説」「同八百八十年説」「同八百八十一年説」「同八百八十二年説」「同八百八十三年説」「同八百八十四年説」「同八百八十五年説」「同八百八十六年説」「同八百八十七年説」「同八百八十八年説」「同八百八十九年説」「同八百九十年説」「同八百九十一年説」「同八百九十二年説」「同八百九十三年説」「同八百九十四年説」「同八百九十五年説」「同八百九十六年説」「同八百九十七年説」「同八百九十八年説」「同八百九十九年説」「同九百年説」「同九百一年説」「同九百二年説」「同九百三年説」「同九百四年説」「同九百五年説」「同九百六年説」「同九百七年説」「同九百八年説」「同九百九年説」「同九百十年説」「同九百十一年説」「同九百十二年説」「同九百十三年説」「同九百十四年説」「同九百十五年説」「同九百十六年説」「同九百十七年説」「同九百十八年説」「同九百十九年説」「同九百二十年説」「同九百二十一年説」「同九百二十二年説」「同九百二十三年説」「同九百二十四年説」「同九百二十五年説」「同九百二十六年説」「同九百二十七年説」「同九百二十八年説」「同九百二十九年説」「同九百三十年説」「同九百三十一年説」「同九百三十二年説」「同九百三十三年説」「同九百三十四年説」「同九百三十五年説」「同九百三十六年説」「同九百三十七年説」「同九百三十八年説」「同九百三十九年説」「同九百四十年説」「同九百四十一年説」「同九百四十二年説」「同九百四十三年説」「同九百四十四年説」「同九百四十五年説」「同九百四十六年説」「同九百四十七年説」「同九百四十八年説」「同九百四十九年説」「同九百五十年説」「同九百五十一年説」「同九百五十二年説」「同九百五十三年説」「同九百五十四年説」「同九百五十五年説」「同九百五十六年説」「同九百五十七年説」「同九百五十八年説」「同九百五十九年説」「同九百六十年説」「同九百六十一年説」「同九百六十二年説」「同九百六十三年説」「同九百六十四年説」「同九百六十五年説」「同九百六十六年説」「同九百六十七年説」「同九百六十八年説」「同九百六十九年説」「同九百七十年説」「同九百七十一年説」「同九百七十二年説」「同九百七十三年説」「同九百七十四年説」「同九百七十五年説」「同九百七十六年説」「同九百七十七年説」「同九百七十八年説」「同九百七十九年説」「同九百八十年説」「同九百八十一年説」「同九百八十二年説」「同九百八十三年説」「同九百八十四年説」「同九百八十五年説」「同九百八十六年説」「同九百八十七年説」「同九百八十八年説」「同九百八十九年説」「同九百九十年説」「同九百九十一年説」「同九百九十二年説」「同九百九十三年説」「同九百九十四年説」「同九百九十五年説」「同九百九十六年説」「同九百九十七年説」「同九百九十八年説」「同九百九十九年説」「同千年説」「同千一年説」「同千二年説」「同千三年説」「同千四年説」「同千五年説」「同千六年説」「同千七年説」「同千八年説」「同千九年説」「同千十年説」「同千十一年説」「同千十二年説」「同千十三年説」「同千十四年説」「同千十五年説」「同千十六年説」「同千十七年説」「同千十八年説」「同千十九年説」「同千二十年説」「同千二十一年説」「同千二十二年説」「同千二十三年説」「同千二十四年説」「同千二十五年説」「同千二十六年説」「同千二十七年説」「同千二十八年説」「同千二十九年説」「同千三十年説」「同千三十一年説」「同千三十二年説」「同千三十三年説」「同千三十四年説」「同千三十五年説」「同千三十六年説」「同千三十七年説」「同千三十八年説」「同千三十九年説」「同千四十年説」「同千四十一年説」「同千四十二年説」「同千四十三年説」「同千四十四年説」「同千四十五年説」「同千四十六年説」「同千四十七年説」「同千四十八年説」「同千四十九年説」「同千五十年説」「同千五十一年説」「同千五十二年説」「同千五十三年説」「同千五十四年説」「同千五十五年説」「同千五十六年説」「同千五十七年説」「同千五十八年説」「同千五十九年説」「同千六十年説」「同千六十一年説」「同千六十二年説」「同千六十三年説」「同千六十四年説」「同千六十五年説」「同千六十六年説」「同千六十七年説」「同千六十八年説」「同千六十九年説」「同千七十年説」「同千七十一年説」「同千七十二年説」「同千七十三年説」「同千七十四年説」「同千七十五年説」「同千七十六年説」「同千七十七年説」「同千七十八年説」「同千七十九年説」「同千八十年説」「同千八十一年説」「同千八十二年説」「同千八十三年説」「同千八十四年説」「同千八十五年説」「同千八十六年説」「同千八十七年説」「同千八十八年説」「同千八十九年説」「同千九十年説」「同千九十一年説」「同千九十二年説」「同千九十三年説」「同千九十四年説」「同千九十五年説」「同千九十六年説」「同千九十七年説」「同千九十八年説」「同千九十九年説」「同千百年説」「同千百一年説」「同千百二年説」「同千百三年説」「同千百四年説」「同千百五年説」「同千百六年説」「同千百七年説」「同千百八年説」「同千百九年説」「同千百十年説」「同千百十一年説」「同千百十二年説」「同千百十三年説」「同千百十四年説」「同千百十五年説」「同千百十六年説」「同千百十七年説」「同千百十八年説」「同千百十九年説」「同千百二十年説」「同千百二十一年説」「同千百二十二年説」「同千百二十三年説」「同千百二十四年説」「同千百二十五年説」「同千百二十六年説」「同千百二十七年説」「同千百二十八年説」「同千百二十九年説」「同千百三十年説」「同千百三十一年説」「同千百三十二年説」「同千百三十三年説」「同千百三十四年説」「同千百三十五年説」「同千百三十六年説」「同千百三十七年説」「同千百三十八年説」「同千百三十九年説」「同千百四十年説」「同千百四十一年説」「同千百四十二年説」「同千百四十三年説」「同千百四十四年説」「同千百四十五年説」「同千百四十六年説」「同千百四十七年説」「同千百四十八年説」「同千百四十九年説」「同千百五十年説」「同千百五十一年説」「同千百五十二年説」「同千百五十三年説」「同千百五十四年説」「同千百五十五年説」「同千百五十六年説」「同千百五十七年説」「同千百五十八年説」「同千百五十九年説」「同千百六十年説」「同千百六十一年説」「同千百六十二年説」「同千百六十三年説」「同千百六十四年説」「同千百六十五年説」「同千百六十六年説」「同千百六十七年説」「同千百六十八年説」「同千百六十九年説」「同千百七十年説」「同千百七十一年説」「同千百七十二年説」「同千百七十三年説」「同千百七十四年説」「同千百七十五年説」「同千百七十六年説」「同千百七十七年説」「同千百七十八年説」「同千百七十九年説」「同千百八十年説」「同千百八十一年説」「同千百八十二年説」「同千百八十三年説」「同千百八十四年説」「同千百八十五年説」「同千百八十六年説」「同千百八十七年説」「同千百八十八年説」「同千百八十九年説」「同千百九十年説」「同千百九十一年説」「同千百九十二年説」「同千百九十三年説」「同千百九十四年説」「同千百九十五年説」「同千百九十六年説」「同千百九十七年説」「同千百九十八年説」「同千百九十九年説」「同二千年説」「同二千一年説」「同二千二年説」「同二千三年説」「同二千四年説」「同二千五年説」「同二千六年説」「同二千七年説」「同二千八年説」「同二千九年説」「同二千十年説」「同二千十一年説」「同二千十二年説」「同二千十三年説」「同二千十四年説」「同二千十五年説」「同二千十六年説」「同二千十七年説」「同二千十八年説」「同二千十九年説」「同二千二十年説」「同二千二十一年説」「同二千二十二年説」「同二千二十三年説」「同二千二十四年説」「同二千二十五年説」「同二千二十六年説」「同二千二十七年説」「同二千二十八年説」「同二千二十九年説」「同二千三十年説」「同二千三十一年説」「同二千三十二年説」「同二千三十三年説」「同二千三十四年説」「同二千三十五年説」「同二千三十六年説」「同二千三十七年説」「同二千三十八年説」「同二千三十九年説」「同二千四十年説」「同二千四十一年説」「同二千四十二年説」「同二千四十三年説」「同二千四十四年説」「同二千四十五年説」「同二千四十六年説」「同二千四十七年説」「同二千四十八年説」「同二千四十九年説」「同二千五十年説」「同二千五十一年説」「同二千五十二年説」「同二千五十三年説」「同二千五十四年説」「同二千五十五年説」「同二千五十六年説」「同二千五十七年説」「同二千五十八年説」「同二千五十九年説」「同二千六十年説」「同二千六十一年説」「同二千六十二年説」「同二千六十三年説」「同二千六十四年説」「同二千六十五年説」「同二千六十六年説」「同二千六十七年説」「同二千六十八年説」「同二千六十九年説」「同二千七十年説」「同二千七十一年説」「同二千七十二年説」「同二千七十三年説」「同二千七十四年説」「同二千七十五年説」「同二千七十六年説」「同二千七十七年説」「同二千七十八年説」「同二千七十九年説」「同二千八十年説」「同二千八十一年説」「同二千八十二年説」「同二千八十三年説」「同二千八十四年説」「同二千八十五年説」「同二千八十六年説」「同二千八十七年説」「同二千八十八年説」「同二千八十九年説」「同二千九十年説」「同二千九十一年説」「同二千九十二年説」「同二千九十三年説」「同二千九十四年説」「同二千九十五年説」「同二千九十六年説」「同二千九十七年説」「同二千九十八年説」「同二千九十九年説」「同三千年説」「同三千一年説」「同三千二年説」「同三千三年説」「同三千四年説」「同三千五年説」「同三千六年説」「同三千七年説」「同三千八年説」「同三千九年説」「同三千十年説」「同三千十一年説」「同三千十二年説」「同三千十三年説」「同三千十四年説」「同三千十五年説」「同三千十六年説」「同三千十七年説」「同三千十八年説」「同三千十九年説」「同三千二十年説」「同三千二十一年説」「同三千二十二年説」「同三千二十三年説」「同三千二十四年説」「同三千二十五年説」「同三千二十六年説」「同三千二十七年説」「同三千二十八年説」「同三千二十九年説」「同三千三十年説」「同三千三十一年説」「同三千三十二年説」「同三千三十三年説」「同三千三十四年説」「同三千三十五年説」「同三千三十六年説」「同三千三十七年説」「同三千三十八年説」「同三千三十九年説」「同三千四十年説」「同三千四十一年説」「同三千四十二年説」「同三千四十三年説」「同三千四十四年説」「同三千四十五年説」「同三千四十六年説」「同三千四十七年説」「同三千四十八年説」「同三千四十九年説」「同三千五十年説」「同三千五十一年説」「同三千五十二年説」「同三千五十三年説」「同三千五十四年説」「同三千五十五年説」「同三千五十六年説」「同三千五十七年説」「同三千五十八年説」「同三千五十九年説」「同三千六十年説」「同三千六十一年説」「同三千六十二年説」「同三千六十三年説」「同三千六十四年説」「同三千六十五年説」「同三千六十六年説」「同三千六十七年説」「同三千六十八年説」「同三千六十九年説」「同三千七十年説」「同三千七十一年説」「同三千七十二年説」「同三千七十三年説」「同三千七十四年説」「同三千七十五年説」「同三千七十六年説」「同三千七十七年説」「同三千七十八年説」「同三千七十九年説」「同三千八十年説」「同三千八十一年説」「同三千八十二

臺東加路蘭海岸で試験的に荷揚げ

臺東 海岸より遙に優秀

【臺東電話】臺東廳下官民が四十年來の叫びである加路蘭（臺東築港地）に突堤を築いて船が安全に接岸出來るかどうかを同廳の技師の具合、地形の點から見てその可能性は充分認められるのである、十六、七の兩日同所で歷史的な荷役が行はれた、當日から仮信號所、關門部落、新港口、成廣澳等の外多數の民間有志參觀に參集して荷役の實況を熱心に研究した、當日は大阪商船の白晝丸（八百噸）が十六日午後一時、西十八噸、關東十八噸、花蓮からの積込み貨物二十八噸、內地から直接移出の貨物四十七噸、その他の約六百噸の貨物を積載して來たが、十六、七の兩日の海は絶好の荷役日和とも言ふべく全然凪げが不可能なる時期に在り殊にこの絶好なる點に於ては全部荷役を終了したが、その結果が十分であればこの地方の産業發展に一大福音を與へるものと期待されてゐる

中壢郡壯丁團檢閱

【中壢電話】中壢郡下の壯丁團檢閱は十六日午前九時より中壢郡役所保安課長及其他を數名の檢查員を以て同郡各地に於て檢閱を行つて午後六時半中壢に歸着した、檢閱の成績は大體に於て良好であつた

作業を行ひ優に靜岡縣を凌ぐ

中壢郡壯丁團檢閱

【中壢電話】中壢郡下の壯丁團檢閱は十六日午前九時より中壢郡役所保安課長及其他を數名の檢查員を以て同郡各地に於て檢閱を行つて午後六時半中壢に歸着した、檢閱の成績は大體に於て良好であつた

移民協會成る

花蓮港廳で發會式

【花蓮港電話】臺東、花蓮兩廳下に於ける內地人移民村を打つて一丸とする協同組織機關として花蓮港內移民協會の結成につき先般來關係者に於て協議中であつたが此程關係者の間に於て協議會を開催したので來る十八日午後二時から廳舍講堂に於て各方面の關係者數十名參集の下に發會式を擧行する筈で、なほ當日は會長には廳勸業課長を推薦し、副會長には廳勸業課長を推薦し、理事及び監事若干名を置いて東洋拓殖會社花蓮港出張所內に事務所を置き、移民村の經營指導を圖り、移民相互の圓滿なる共存共榮の實をあぐるにあり協會の組織は會長に廳勸業課長、副會長に廳勸業課長、理事に廳勸業課長、東洋拓殖會社花蓮港出張所長、日本糖業會社花蓮港出張所長、日本製糖會社花蓮港出張所長、臺灣拓殖會社花蓮港出張所長、臺灣電力會社花蓮港出張所長、臺灣鐵道部花蓮港出張所長、臺灣銀行花蓮港出張所長、臺灣總督府警察官吏一名、臺灣總督府技師一名、臺灣總督府技手一名、臺灣總督府通譯一名、臺灣總督府巡査一名、臺灣總督府巡査部長一名、臺灣總督府警部補一名、臺灣總督府警部一名、臺灣總督府警視一名、臺灣總督府理蕃課長一名、臺灣總督府理蕃課員一名、臺灣總督府理蕃課通譯一名、臺灣總督府理蕃課巡査部長一名、臺灣總督府理蕃課巡査一名、臺灣總督府花蓮港廳勸業課長一名、臺灣總督府花蓮港廳勸業課技手一名、臺灣總督府花蓮港廳勸業課通譯一名、臺灣總督府花蓮港廳勸業課巡査一名、臺灣總督府花蓮港廳勸業課巡査部長